平成３０年度第１５回 地域連携推進機構運営会議 議事要旨

日　時: 平成３１年３月１８日（月）　１１：００～１１：５０
場　所: 地域国際学習センター ３階 ３０１講義室
出席者: 須加原 一博（機構長），屋 宏典（副機構長 兼 産学官連携部門長），背戸 博史（地域連携企画室長），遠藤 光男（生涯学習推進部門長），柴田 聡史（生涯学習推進部門 准教授），島袋 亮道（地域連携企画室 特命准教授），畑中 寛（地域連携企画室 特命准教授），下地 みさ子（産学官連携部門 特命准教授），瀬名波 出（産学官連携部門 教授(併任)），金城 徹（総合企画戦略部 地域連携推進課長）
欠席者: 玉城 理（産学官連携部門 准教授），小島 肇（地域連携企画室 特命准教授），宮里 大八（地域連携企画室 特命准教授），空閑 睦子（生涯学習推進部門 特命准教授），新川 武（産学官連携部門 教授(併任)），新田 早苗（総合企画戦略部長）
陪席者: 下地 孝之（課長代理），大城 光雄（企画係長），赤嶺 雅哉（地域連携推進係長），與儀 あゆみ（産学連携推進係長），菅野 達之（企画係員），宮平 知佳子（地域連携推進係員），天願 翔太（産学連携推進係員）

※審議に先立ち，２月２２日開催の平成３０年度第１４回運営会議の議事要旨案について確認があり，了承された。

＜審議事項＞
議長から，次の２つの事項について機構の今後の対応について審議を行う旨提案があり，各担当から説明の上，審議を行った。

1. 平成３１年度非常勤講師・委託非常勤講師及び客員教授称号付与について
屋部門長から，資料（審議１）に基づき委嘱及び名称付与について説明があった。
審議の結果，原案どおり委嘱及び名称付与を行うことが了承された。

2. ドコモ５Ｇオープンパートナープログラムへの申込みについて
屋部門長から，資料（審議２）に基づき申込みについて説明があった。
審議の結果，原案どおり申込みを行うことが了承された。

＜報告事項＞
議長から，次の５つの事項について機構の現状の認識と情報の共有を図るため，各担当から報告を行うよう発言があった。

1. 地域連携推進機構における２０１９年度計画予算案について
金城課長から，資料（報告１）に基づき年度計画予算案について報告があった。主な意見は以下のとおり。

・　大学開放事業費は毎年度不足の状況が続いており，次年度以降の課題として，同規模の事業（公開講座・公開授業）を実施するために予算を工面するのか，予算に応じた事業規模に収めるのか，方向性の検討が必要である。（遠藤部門長）
・　大学全体の予算は限られているので，大学としては予算投入の効果や成果が高いものに回さざるを得ないだろう。予算を獲得するためにも，ＰＤＣＡサイクルの重要性はよく認識する必要がある。また，事業とＫＰＩとの関連性を明確にすれば，説得力が増すのではないか。（嘉目監事）
・　公開講座のＫＰＩとしては数だけではなく，人材育成の観点からどのような成果が得られるかが重要である。また，島嶼振興の観点からサテライトシステムを活かして何ができるのか，といった視点もあった方が良い。（須加原議長）

2.　平成３１年度地域連携推進機構共用研究室等使用申請審査結果について
屋部門長から，資料（報告２）に基づき審査結果について報告があった。

3.　２０１９年オーキッドバウンティの贈呈について
遠藤部門長及び背戸教授から，資料（報告３）に基づき贈呈について報告があった。

4.　各室・部門の当面の活動予定（主要事項）について
各室・部門から，資料（報告４）に基づきそれぞれ報告があった。

5.　琉球大学未来共創フェア２０１９の進捗報告について
畑中特命准教授から，フェアに関する進捗状況について報告があった。